

緑茶用多収早生品種 ‘さやまあかり’

2021年1月26日に‘さやまあかり’が品種登録されました。

特徴

- ◎ 収量が多い‘さやまかおり’に比べても多収であるため、やや早く摘採しても十分な収量が得られ、製茶品質が向上します。
- ◎ ‘やぶきた’に比べ萌芽期は遅いですが、摘採期は同等のやや早生種です。
- ◎ 難防除害虫であるクワシロカイガラムシに抵抗性を持っています。
- ◎ 製茶品質は、茶葉の色沢が‘さやまかおり’より鮮やかな緑色で、旨味と程良い渋味があります。

品種・系統名	早晩性	樹勢	一番茶		収量(kg/10a)	被害発生程度			
			萌芽期	摘採期 ^{※1}		一番茶 ^{※1}	赤枯れ	青枯れ	炭疽病 ^{※1}
さやまあかり	やや早生	やや強	4/16	5/17	526	1.5	1.4	2.0	2.0
さやまかおり	早生	強	4/11	5/14	479	1.5	1.6	3.3	1.0
やぶきた	やや早生	やや強	4/13	5/17	252 ^{※3}	2.1	1.6	2.5	4.0

2014～2017年の平均値。被害発生程度は1(無)～5(多)の5段階評価の平均値。

※1 2014～2015,2017年の平均値。 ※2 2014年の値。

※3 クワシロカイガラムシ被害の影響で収量が激減したため2014, 2017年2カ年の平均値。



一番茶新芽(第3葉)の葉色比較



やぶきた

さやまあかり

さやまかおり

一番茶摘採期の新芽

‘さやまあかり’は‘さやまかおり’よりも葉の色が鮮やかな緑色をしているため、製茶した際の色沢に黒みがない。